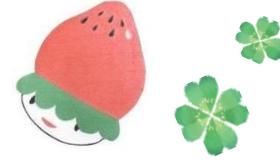




認知症に関する 正しい知識と治療・ケア



絵本

◇『認知症世界の歩き方』

認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？』

覓裕介／著 認知症未来共創ハブ／ほか監修
ライツ社

認知症のある人の視点で認知症世界の旅先を歩きながら、当事者たちが経験する日常の困りごとや気持ちを身近に感じられる、旅行記のような1冊です。

◇『ペップトーク』

認知症の人が元気になる介護が楽になる魔法の言葉かけ』

おやのめぐみ／著 日本ペップトーク普及協会
／監修 中央法規出版

相手を元気づけるポジティブな言葉かけ、ペップトーク。夫の認知症ケアの中でペップトークと出会い、その普及に取り組んでいる著者による、当事者も介護者も元気になれるペップトークが紹介されています。

◇『マンガ認知症 施設介護編』

ニコ・ニコルソン、佐藤真一、小島美里／著

筑摩書房

認知症の祖母を持つマンガ家が施設介護に踏み出す際に直面した施設の選び方や施設介護にかかるお金の問題、家族の悩みや不安まで、認知症心理学と介護の専門家が解きほぐしてくれます。



※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。

◇『いつかあなたをわすれても』

桜木紫乃／文 オザワミカ／絵

集英社

ゆっくり思い出を忘れていく祖母とそれを受け入れていく母。繊細なイラストとともに少女の視点で描かれる、母と祖母の物語。

◇『おじいちゃん、おぼえてる？』

フィル・カミングス/文
オーウェン・スワン/絵 福本友美子/訳
光村教育図書

施設で暮らす認知症の祖父を見舞うジョージー。昔のことはよく覚えているのに自分のことは忘れてしまっている祖父へかけるジョージーのやさしい言葉たちに心を打たれます。